

内山郁太郎家文書目録解題

内山郁太郎家は、江戸時代後期には上土底浜新田の庄屋や才浜組の総代、土底組大肝煎などを勤め、明治期には第七大区小三区の戸長を勤めている。この目録に登載した文書は、昭和 50 年ころに内山家から上越市青少年文化センターへ寄贈され、その後上越市史編さん室へ移管されたものである。

内山郁太郎家文書は 126 点で、およそ次の 3 群に大別できる。

① 庄屋や戸長等に関する文書

嘉永 6 年(1853)の「才浜組村々人別増減書上帳」、明治 2 年(1869)の「(上土底浜組村々買入希望米石数等書上)」、慶応 4 年(1868)の「鉢崎詰人足繰出帳」、明治 5 年(1872)の「御用書留帳」、明治 13 年の「村諸雑費留帳」、明治 16 年(1883)の「学校組合連合会規則」など、大部分がこの関係の文書である。

② 内山家に関する文書

明治 2 年(1869)の「已金銭請払日記」、明治 16 年(1883)の「金銭請払日記帳」など。

③ その他

元禄 7 年(1894)の「世説新語補一～十」、明治 26 年(1893)の「故小林百嘯先生石碑義捐名簿」など。